

里仁第四

子曰、不患無位、患所以立。

不患莫己知、求為可知也。

子曰わく、くらいな うれ無きを患えず、たゆえん うれ立つ所以を患う。

おのれ し己を知るなこと莫きを患えず、し知らるべきことをな為すをもと求むるなり。

(4-80)

<子曰わく、位無きを患えず、立つ所以を患う>

Q：「子曰わく、位無きを患えず、立つ所以を患う」とは何ですか。

A：(1)「孔子が言った。自分の社会的地位のないことを悩むことはない。それよりも、地位に立つための人間性がないからであることを、悩むことだ」の意。

(2)「自分の地位の無いのを心配せずに、いかにしたらその地位に立つに足り得るか、実力のないことを悩め」の意。

(3)「位」とは、政治をとる高い身分・地位。

(4)「立つ所以」の「所以」とは理由。「立つ所以」とは立ちうるだけの理由。

<己を知ること莫きを患えず、知らるべきことを為すを求むるなり>

Q：「己を知ること莫きを患えず、知らるべきことを為すを求むるなり」とは何ですか。

A：(1)「また、世間の人々が、自分の真価を認めてくれないことを悩むことはない。それよりも、人から認められるだけの行いをするよう、心がけることだ」の意。

(2)「また、世人が自分の価値を知ってくれないのを心配せずに、知られるだけのことをしてやろうとつとめるべきだ」の意。

(3)「可知」とは、「知られるねうちがある、資格がある」の意。

(4)孔子はあくまでも地位名聞を否定しない。その地位名聞を得るにふさわしい人物になれという。実質主義である。

2011年6月13日林明夫記